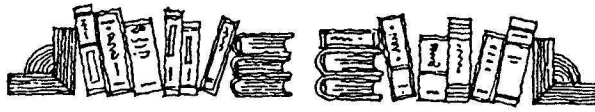


国語国文学会だより



No. 27

2002. 8

日本文学科卒業生の会

国語国文学会

春の総会・研究発表会報告

平成十四年度春の総会・研究発表会を五月二十三日(木)、八十年館八五一教室にて開催しました。当日は、長年本学科教授及び学長を勤められた青木生子先生もおみえになり、ご挨拶をいただきました。また、青木先生よりのご厚志を日本女子大学日本文学科賞の運営基金に組み入れたとの報告がありました。

◆第一部 総会

(1) 国語国文学会会長挨拶

倉田宏子先生

(2) 奨学金授与

上村悦子賞

院博士課程前期二年次 三輪初瀬氏

院博士課程後期三年次 一文字昭子氏

日本女子大学日本文学科賞奨励賞

院博士課程前期二年次 潘浩氏

(3) 国語国文学会委員長挨拶・役員紹介

(学生の会・卒業生の会)

(4) 平成十三年活動・決算報告

(5) 平成十四年度活動計画案・予算案・監査選出

(4)(5)については、学生、卒業生より各々報告説明を行い、各案件とも審議後承認

(6) 自主ゼミ発足(学生の会・卒業生の会)、承認

◆第二部 活動報告と研究発表

交換留学生紹介及び挨拶

学部三年 ファンクハウザー・ジュリアナ・マリ

ア(ウエルズリー・カレッジ)アランテス・イザベル・ホンテネレ(ウエルズリー・カレッジ)
学部四年 カーナ・ジーナ・グレイ(オレゴン大学)

秋季大会・公開講演会のご案内

▼日時 平成十四年十一月三十日(土)

▼場所 八十年館八五一教室

▼公開講演会

▼題目未定

ドナルド・キーン氏

☆講師略歴

ドナルド・キーン

一九二二年ニューヨーク生まれ。コロンビア大学及び大学院、ケンブリッジ大学を経て一九五三年京都大学大学院に留学。一九九二年から一九九三年まで本学客員教授を務められ、現在コロンビア大学名誉教授。アメリカアカデミー会員。日本学士院客員。日本文学の研究とその海外への紹介に対し、勲二等旭日重光章を受賞。菊池寛賞、読売文学賞、日本文学大賞、全米文芸評論家賞など多数受賞。「日本人の美意識」「日本文学の歴史」「百代の過客」など著書多数。

▼講演

▼題目未定 本学助教授 藤原浩史先生

▼懇親会

講演会終了後、ワイミンにて(予定)

会費 三千円(学生千円)

*研究発表会

三十日午前

(発表者募集) 詳細は四面参照

・報告

「われもかう」考

服飾から見た『とはずがたり』

中世自主ゼミ 鈴木春奈氏

中世文化と私の仕事

古代中世文化論乃至芸術論ゼミ 児玉久美子氏

・研究発表

山神の水神的性格をめぐる一考察

新61 野田訓子氏

小林秀雄の歴史意識

「歴史について」におけるベルジャーエフ『歴史

の意味』受容を中心に――

新52 小川真友子

平成十三年度卒業生の会活動報告

(1) 総務

・回生委員会・常任委員会の召集

・春季総会・研究発表会の開催 五月二十四日(土)

(2) 企画

・自主ゼミの活動

平安文学談話会・皇女研究会・古代中世文化論

文学散歩の実施

・秋季大会の開催

十二月八日(土) 研究発表会・総会・講演会・懇親会

(3) 会計

・会費納入の確認

・収支・運営・備品の完備など

(4) 編集

・「国語国文学会だより」の発行

二十五号(春の号八月)、二十六号(秋の号三月)

・はがき通信 五月(春の総会案内)

・はがき通信 十一月(秋季大会出欠、住所確認、

「ひとこと」)

平成十四年度卒業生の会活動計画案

(1) 総務

・春季総会・研究発表会の開催 五月二十三日(木)

(2) 企画

・自主ゼミの設立

・秋季大会の開催

研究発表会・総会・講演会・懇親会

・文学散歩の実施

(3) 会計

・会費納入への協力依頼

・活動充実のための備品の整備・購入

(4) 編集

・「国語国文学会だより」の発行

春の号・八月 秋の号・三月

・はがき通信

五月・十一月

日本女子大学国語国文学会卒業生の会
平成13年度決算報告(平成14.5.23日現在)

【収入の部】

(円)

項 目	予 算	決 算	増 減
前年度繰越金	446,568	446,568	
会 費	750,000	650,184	△ 99,816
利 子	0	82	
計	1,196,568	1,096,834	

【支出の部】

通信費	350,000	414,735	△ 64,735
文具費	10,000	1,554	
コピー代	20,000	200	
会報印刷費	140,000	82,320	
名簿作成費	100,000	0	
委員会活動費			
・委員会費	20,000	16,799	
・交通費	40,000	36,000	
・行事費	10,000	0	
ゼミ費	30,000	30,000	
大会費用	100,000	81,372	
講演料	(60,000)	(30,000)	
諸経費	(40,000)	(51,372)	
慶弔費	10,000	5,000	
パソコン関係諸費	80,000	36,358	
予備費	286,568	315	
計	1,196,568	704,653	

次年度繰越金 ￥392,181

上記の通り決算報告致します。

会計 津田美子 有藤令子 倉田智子

監査の結果、上記決算報告が正確であることを認めます。

監査 猶場三保 保志美也子

平成十四年度常任委員

総務 児玉久美子(旧46) 関根緑(旧44) 高野晴代(院14) 土橋ユリヨ(新31) 藤木直美(院31)

稲田千恵子(院33)

企画 立川和子(新1) 新妻佳珠子(新3) 菅野富

邇子(新11) 平山静(新34)

会計 津田英子(新6) 斎藤令子(新6)

編集 中田和子(院27) 福原房枝(新28) 黒川晴美(新33) 倉田智子(新31) 小長井晃子(院33)

斎藤規知(院35)

本年度の会計監査は猶場三保さん(新11)、保志美也子さん(新12)です。

平成十四年度研究サークル

*平安文学談話会(古筆を読む)

金曜日午後四時半(年十回) 日本文学科研究室

高野晴代 ○三(三三七〇)六八〇六

*皇女研究会(皇女総覧平安朝篇の作成)

不定期 土曜日午前十時半 大学図書館共同研究室

柳澤理恵子 ○四五(八五一)六五二五

*古代中世文化論乃至芸術論

毎月第四木曜日午後一時半〜三時半

山田佐和子 ○三(三九七二)四八四三

桜楓会館新館にて

○『国文目白』第四十一号ができました。ご希望の方は葉書で左記までお申し込みください。

千一・二・八六八

文京区目白台二・八一

日本女子大学日本文学科

研究室『国文目白』係

代金は、冊子到着後に払い込んでください。

(送料別 千七百円)

国文目白第四十一号

日本文学科創設百年記念

特集号目次より

日本文学科創設百年に寄せて

日本文学科創設百年に寄せて

成瀬仁蔵と日本女子大学校国文学部

明治文化と日本女子大学校国文学部の創設

大学派(赤門派)の文学運動と国文学部の教育

武島羽衣『霓裳歌話』をめぐる

日本女子大学校における茅野蕭々・茅野雅子の文学と教育

新制日本女子大学国文学科の構想

久松潜一博士の国文学研究と日本女子大学

日本女子大学校ゆかりの文学者たち

開校からの一〇年を中心に

『青路』と日本女子大学校同窓生

岩淵(倉田) 宏子

小長井晃子

清水康行

鈴木健一

青木生子

小川靖彦

岩淵(倉田) 宏子

日本女子大学国語国文学会卒業生の会
平成14年度予算案 (平成14.5.23)

【収入の部】	
前年度繰越金	392,181
会費	750,000
計	1,142,181
【支出の部】	
通信費	400,000
文具費	10,000
コピー代	20,000
会報印刷費	140,000
名簿作成費	100,000
委員会活動費	
・委員会費	20,000
・交通費	40,000
・行事費	10,000
ゼミ費	30,000
大会費用	100,000
講演料	(60,000)
諸経費	(40,000)
慶弔費	10,000
パソコン関係諸費	60,000
予備費	202,181
計	1,142,181

岩淵(倉田) 宏子・他
エッセイ・日本文学科の百年
年表・日本文学科の百年
研究論文

研究室だより

○ご承知のように昨年度、本学および本学科は創立百周年を迎えました。これを記念して、本学会機関誌の『国文目白』では、日本文学科の伝統をさまざまな角度から振り返り、さらなる発展と充実を期すために「日本文学科創設百年記念特集号」を刊行致しました。教員・大学院生・卒業生による本学科創設百年に関する論文・エッセイ・年表を、通常号の内容に加えて掲載しております。是非ともご高覧ください。お願いしますようお願い申し上げます。

○昨年度創設致しました日本女子大学日本文学科賞にたいして、元学長で本学会名誉会員の青木生子先生から多額のご寄付をいただきましたことをご報告申し上げます。五月二十三日(木)の本学会春季大会には、ご臨席賜りました青木先生から学生たちへのお励ましのお言葉をいただき、同賞奨励賞の第二回授与式を執り行いました。本奨学金の内実が、ご芳志をお寄せ下さいました先生方のご期待にお応えするべく一層の充実をみせますよう祈念せずにはられません。

○昨年同様、八月三日(土) 午後一時から三時まで、本学科卒業生による教育活動報告の会を開催致しました。本年は、田中彩子氏(新四十八回卒、城西大学附属城西中学・高等学校教諭)に、「私をひらいて見えてきたもの、出来たこと」というご講演をお願いし、メディア教育を通して生徒のアイデンティティ形成をサポートする試みについて大変興味深く拝聴致しました。田中氏の教員としての真摯で積極的な姿勢は、教職志望の学生たちに、多大な励ましと示唆を与えられました。

○昨年度、国立国語研究所を中心とした国内研修に出られていた藤原浩史先生が帰任されました。

○今年度は、高橋智子先生が、イギリスのケンブリッジ大学を中心とした海外研修に出ておられます。

○ほかの先生方は、昨年と変わりません。

小川靖彦先生(上代文学)

後藤祥子先生(中古文学)

石井倫子先生(中世文学)

鈴木健一先生(近世文学)

源 五郎先生(近代文学)

清水康行先生(日本語学)

藤原浩史先生(日本語学)

石田敏子先生(日本語教育学)

谷中信一先生(中国思想史)

田辺和子先生(外国人留学生特別科目)

田中 功先生(図書館情報学)

倉田宏子(近代文学)の十二名です。

○助手さんは、伊藤江美さんが本年三月をもって退職され、後任として八木京子さんが着任されました。白石美鈴さん、溝部優実子さんは、変りありません。非常勤助手の稲員直子さんも昨年度前期をもって退職され、代わって長崎靖子さんがお勤め下さっています。

○国語国文学会の担当は、小川先生、石井先生、溝部さんです。(日本文学科長 倉田記)

◆文学散歩へのお誘い―二人の「寛」を追って―サンカ小説の三角寛。「真珠夫人」の刊行で話題の菊池寛。女子大とも縁の深い二人の「寛」。この時期の再評価を機に「大衆文芸」の世界に遊びたいと思います。母校に隣接する旧三角寛邸(食事処「寛」)でゆかりの方からお話を伺った後、「講談社野間記念館」へ。「少女倶楽部」「婦人倶楽部」「キング」など、講談社メディア誌上で一世を風靡した日本を代表する画家の作品を鑑賞する予定です。ご案内は、藤木直美氏(院31)です。

日 時 十月十九日(土)

集合場所 母校 百年館一階ロビー

費 用 昼食・入場料他約五千円
申し込み・連絡先
新妻佳珠子(新3) 〇四二二四四四六九一
十月十二日～十七日 夜間にお電話を

◆研究発表会発表者募集

- ・日 時 平成十四年十一月三十日(土)
- ・発表時間 三十分、質疑十分
- ・応募資格 本学国語国文学会会員
- ・応募方法 四百字以内に発表要旨をまとめ、論題とともに申し込む。
- ・応募先 日本文学科研究室
- ・締切り 平成十四年九月二十四日(火)

○会計より

振替用紙を同封いたしました。本年度会費千円の納入を十月末日までお願いいたします。尚、複数年度の会費を既にお納めいただいている方には用紙をお送りしておりませんが、万一手違い等ございましたら、会までご一報くださると共に、何卒ご容赦くださいますよう、お願いいたします。

二〇〇二年八月三十一日

発行・日本女子大学日本文学科

国語国文学会卒業生の会

〒二二一八六八一

東京都文京区目白台二一八一

日本女子大学 日本文学科内